

作成日 2015 年 12 月 4 日

腹腔鏡下肝切除術を受けられる方へ 症例登録システムを用いた腹腔鏡下肝切除術の安全性に関する検討 — 多施設共同研究 — への協力のお願い

【研究の概要】

我が国では肝癌は悪性新生物死亡原因の第 5 位であり、同じく第 3 位の大腸癌は約 3 割に肝転移が見られます。腹腔鏡下肝切除術により根治的かつ低侵襲にこれらのがん治療をおこなうことで、がん患者さんの QOL(生活の質)の改善と予後の向上が期待されます。近年マスコミ報道などで、その安全性を疑う報道がされ、標準治療でない内視鏡手術(保険診療外)を混在した評価がされています。そこで肝臓内視鏡外科学会が症例登録システムを構築しました。手術前から退院まで、予後経過等を登録することで、安全性の担保および透明性の確保、重篤な有害事象を共有し、腹腔鏡下肝切除術の有用性を証明します。このことで患者さんの安心、信頼に得た治療につなげます。

【研究の対象】

○2015 年 10 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の間に、腹腔鏡下肝切除術を受けられた方

【研究に用いる試料】

腫瘍の病態、術中出血量、開腹移行率、手術時間、術後在院日数、術後合併症発生率、等

【外部への情報提供】

症例登録システムに、個人を特定する事が出来るような情報を登録することはありません。本データは肝臓内視鏡外科学会に帰属し、管理されます。

【研究組織】

肝臓内視鏡外科学会の世話人施設(約 70 施設)で、各病院の倫理委員会の承認が得られた施設が共同で行ないます。

この研究は、当院で通常行なわれている手術治療の経過を集計するもので、研究に協力することによって皆様に特別な危険や負担をおかけするものではありません。

又、この研究の対象となられる方で「ご自身の治療経過等を提供したくない方がいらっしゃいましたら、ご遠慮なく担当医師までご連絡下さい。

なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診断・治療において不利益を被ることはまったくありません。

【問い合わせ先】

社会医療法人景岳会 南大阪病院 外科 藤尾 長久
〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 1 丁目 18-18
Tel: 06-6685-0221(代)